3月13日 №1624
2023年(令和5年)
週刊 月曜発行
発行人 河村 勝志
平成元年9月22日 第3種郵便物承認
購読料(定価) 年間 22,900円+税
1部本体 495円+税

週刊 循環経済新聞
JUNKAN KEIZAI The Recycling Economy Times

残コン・戻りコン再生処理剤

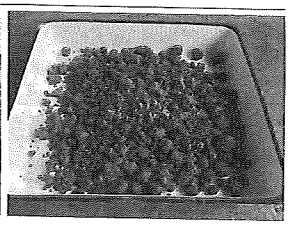
NETISに登録、廃棄せず骨材へ

「土」に特化する化学薬品メーカーのテクニカ合同

テクニカ合同（神戸市、寺尾好太社長、☎078・436・0280）が開発した残コン・戻りコン再生処理剤「コンバラス」（特許第7103608号）が、昨年12月2日付で国土交通省のNETIS（新技術情報提供システム）に登録された。同薬剤を活用することで、建設現場や生コン工場で余った残コン・戻りコンを廃棄することなく、即座に骨材として再生できる。

生コン車のホッパーに同薬剤を投入し、約2分間残コンと攪拌することで、即時的に骨材が造粒化する。造粒化した攪拌物を生コン車から搬出後、敷きならし1日ほど静置（養生）することで改質が完了。攪拌直後の性状は、比較的粘性が少なく、粗骨材と細骨材の分離がはっきりと確認でき、静置後はより一層分離が進む。完成後はRCのような性状となる。

また、固化後に容易に粉砕できることから粉砕機等の設備を必要とせず、生コン車に投入・攪拌（もしくは重機での攪拌）する工程のみで改質を行えることから、容易に作業できる点が強み。産廃（コンクリートがら）として搬出する手間や処理コストの削減にも貢献する。加えて、繊維入りコンクリートにも対応可能だ。現場や工場で粒状化した骨材の活用先は、▽土工の埋戻工において埋戻材料に混合して使用▽軟弱地盤処理工において軟弱土に混合し、粒度調整材料として使用▽仮設道路や仮設駐車場の再生砂利として使用――などを想定する。



「コンバラス」添加前

添加後のようす

外観は白色粉体で、比重は0・9～1・1。荷姿は5キログラム（250グラム×20袋）もしくは10キログラム（1キログラム×10袋）で供給する。改質に必要とする添加量は、生コン1立方メートル当たり500グラム～1キログラム。同社担当者は「処理方法は簡易な機械のみを使って、残コン・戻りコンを廃棄せず再生利用を実現することから、経済性と安全性の向上に期待できる。騒音の大きな破砕作業が不要な上、運搬工程の省略でCO_2排出抑制にも貢献する」と話した。